

# 久留米市地場企業景況調査レポート(平成21年1月～3月期調査分)

## <調査目的>

久留米市内地場企業の景況及び経営動向を把握し、今後の経営改善普及事業に資するとともに、これらの情報の集計結果を事業所へ提供し、経営の参考にしていただくために調査する。

## <調査対象>

当所会員事業所を対象とし、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業それぞれ120社ずつ、計600社を任意抽出して実施。

## <調査要領>

四半期ごとに調査用紙を郵送し、前年同月比や来期の予測について回答を求める。調査の集計は日商中小企業景況調査の集計方法に基づいた景気判断指数(DI値)で行う。

## <DI値とは>

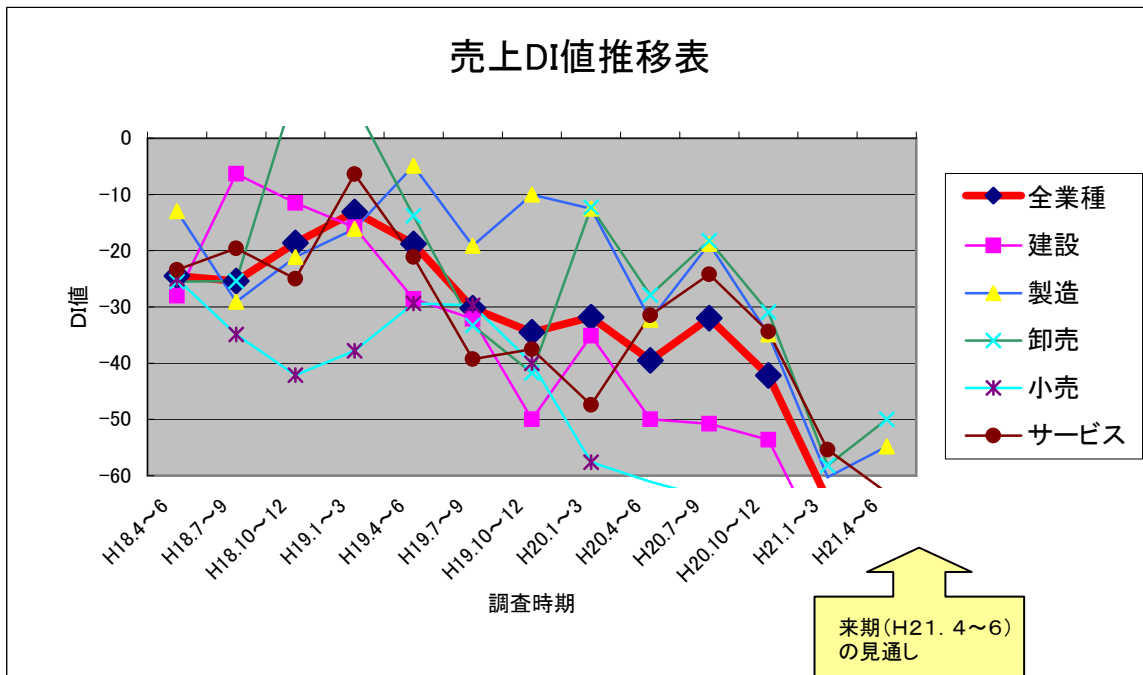
DI(ディーアイ。Diffusion Index: 景気動向指数の略)値は、売上・採算・業況などの各項目についての、ヒアリング対象の判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答(「増加」や「好転」など)の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答(「減少」や「悪化」など)が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

## <平成21年1月～3月期調査分回収結果>

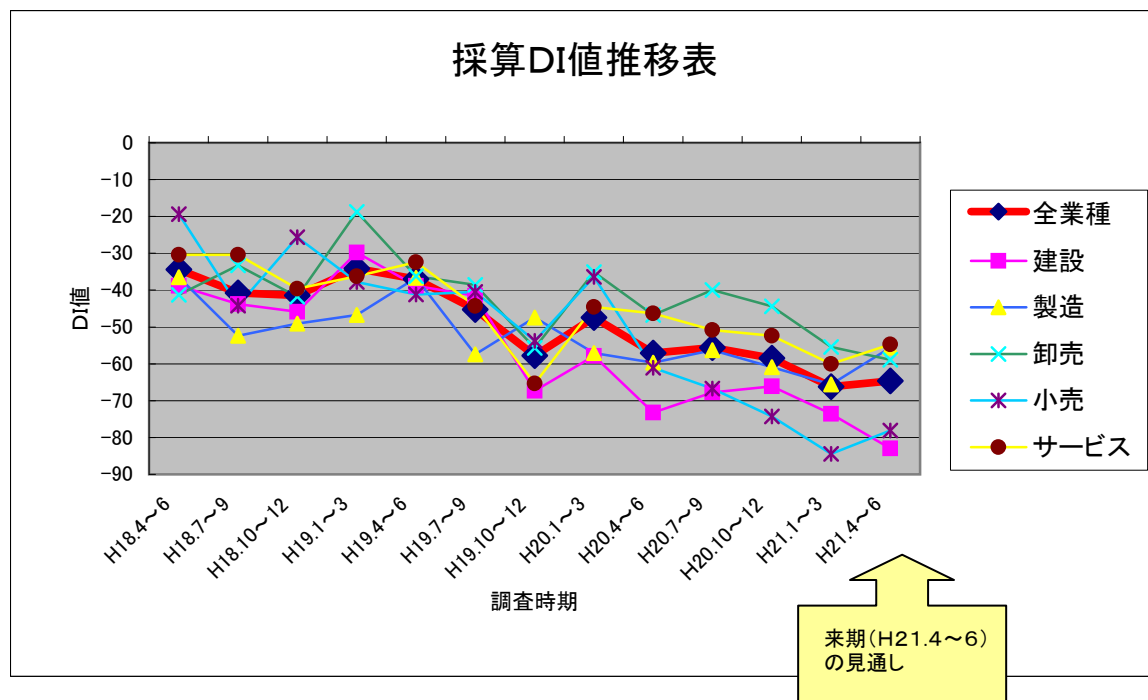
業種	対象事業所数	回答数	回答率
全業種	600	262	43.7%
建設業	120	54	45.0%
製造業	120	64	53.3%
卸売業	120	56	46.7%
小売業	120	32	26.7%
サービス業	120	56	46.7%

## 売上DI値推移表



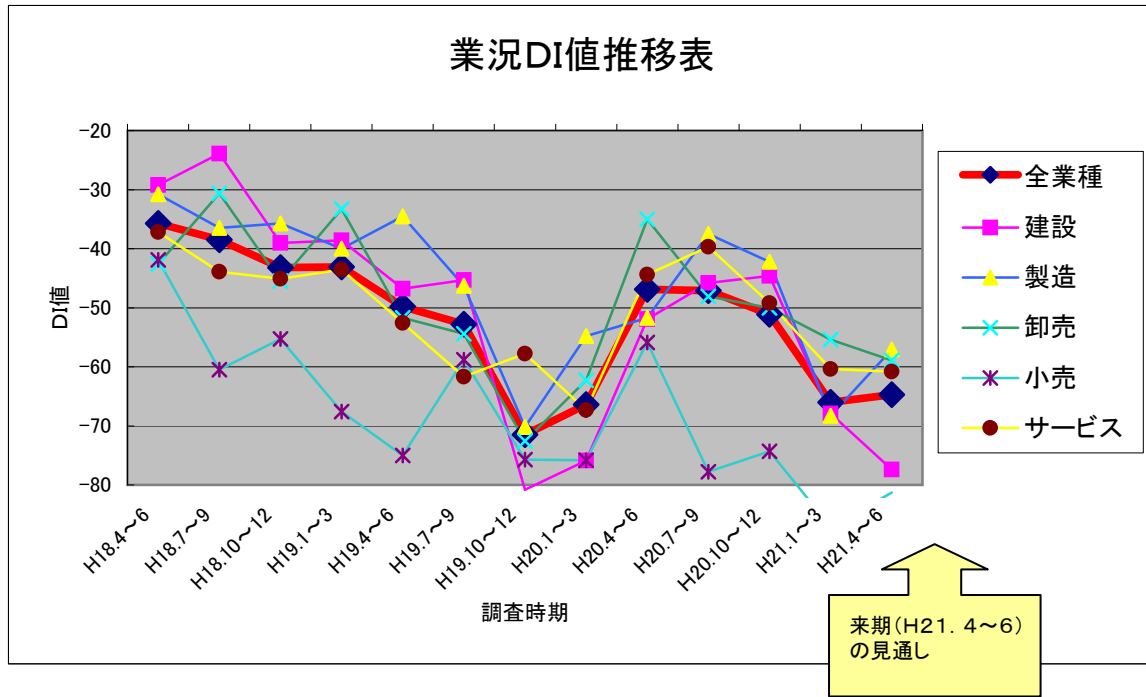
今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で売上面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は29社(前期比12社減)、「減少した」と回答した企業は195社(前期比1社減)、「横ばいである」と答えた企業は34社(前期比12社減)であった。DI値を見ると、マイナス幅は二期連続で拡大して▲64. 3となり、前期比で22. 1ポイント悪化した。業種別に見ると、建設業▲74. 5(前期比10. 3P好転)、製造業▲60. 3(前期比9. 6P悪化)、卸売業▲58. 2(前期比13. 2P悪化)、小売業▲80. 6(前期比13. 9P悪化)、サービス業▲55. 4(前期比5. 4P悪化)となった。来期(H21. 4~6)の見通しでは全業種DI値は▲63. 3と1ポイント好転する見込み。

## 採算DI値推移表



今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で採算面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は13社(前期比9社減)、「悪化した」と回答した企業は185社(前期比7社減)、「横ばいである」と答えた企業は62社(前期比10社減)であった。DI値を見ると、マイナス幅は二期連続で拡大して▲66. 2となり、前期比で6. 8ポイント悪化した。業種別に見ると、建設業▲73. 6(前期比2. 9P悪化)、製造業▲65. 6(前期比0. 6P好転)、卸売業▲55. 4(前期比12. 8P悪化)、小売業▲84. 4(前期比22. 9P悪化)、サービス業▲60. 0(前期比3. 3P悪化)となった。来期(H21. 4~6)の見通しでは全業種DI値は▲64. 6と、1. 6ポイント好転する見込み。

## 業況DI値推移表

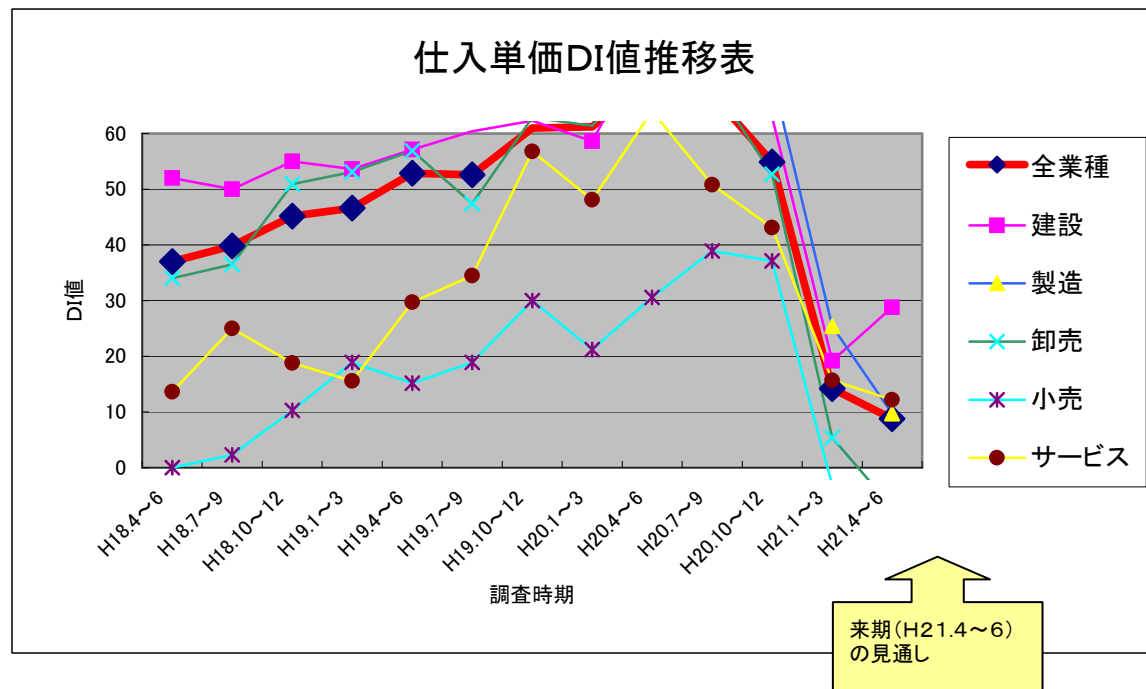


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で業況面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は12社(前期比2社増)、「悪化した」と回答した企業は181社(前期比2社減)、「横ばいである」と答えた企業は63社(前期比27社減)であった。DI値を見ると、マイナス幅は三期連続で拡大して▲66. 0となり、前期比で4. 9ポイント悪化した。

業種別に見ると、建設業▲67. 9(前期比6. 5P悪化)、製造業▲68. 3(前期比3. 6P悪化)、卸売業▲55. 4(前期比2. 9P悪化)、小売業▲87. 1(前期比15. 3P悪化)、サービス業▲60. 4(前期比1. 8P悪化)となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは全業種DI値は▲60. 8と、0. 4ポイント悪化する見込み。

## 仕入単価DI値推移表

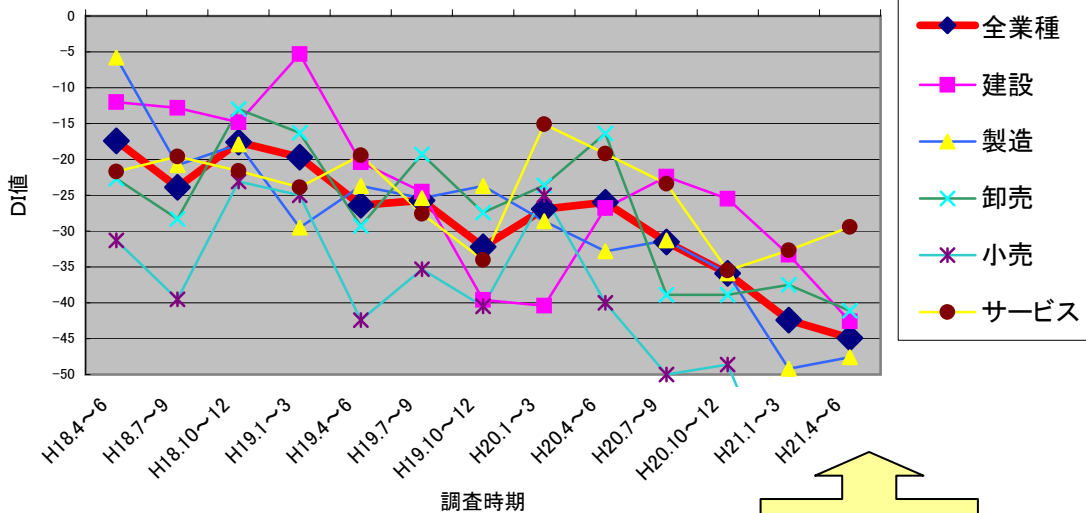


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で仕入単価面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「上昇した」と回答した企業は88社(前期比64社減)、「低下した」と回答した企業は52社(前期比11増)、「横ばいである」と答えた企業は114社(前期比29社増)であった。DI値を見ると、3期連続で縮小して14. 2となり、前期比で25. 7ポイント好転した。

業種別に見ると、建設業19. 2(前期比29. 9P好転)、製造業25. 4(前期比29. 8P好転)、卸売業5. 4(前期比40. 5P好転)、小売業▲3. 1(前期比8. 2P好転)、サービス業15. 7(前期比13. 6P好転)となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは全業種DI値は8. 8と、5. 4ポイント好転する見込み。

### 資金繰りDI値推移表



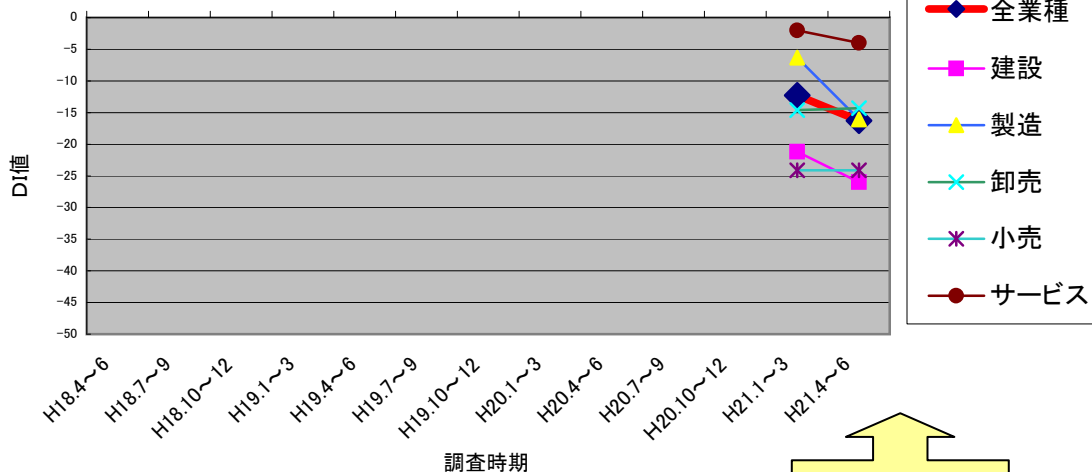
来期(H21.4~6)の見通し

今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で資金繰り面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は6社(前期比2社減)、「悪化した」と回答した企業は115社(前期比1社増)、「横ばいである」と答えた企業は136社(前期比24社減)であった。DI値を見ると、マイナス幅は3期連続で拡大して▲42. 4となり、前期比で4. 8ポイント悪化した。

業種別に見ると、建設業▲33. 3(前期比6. 4P好転)、製造業▲49. 2(前期比4. 4P悪化)、卸売業▲37. 5(前期比8P悪化)、小売業▲20. 2(前期比9P好転)、サービス業▲32. 7(前期比2. 8P好転)となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは全業種DI値は▲44. 9と、2. 5ポイント悪化する見込み。

### 従業員数DI値推移表



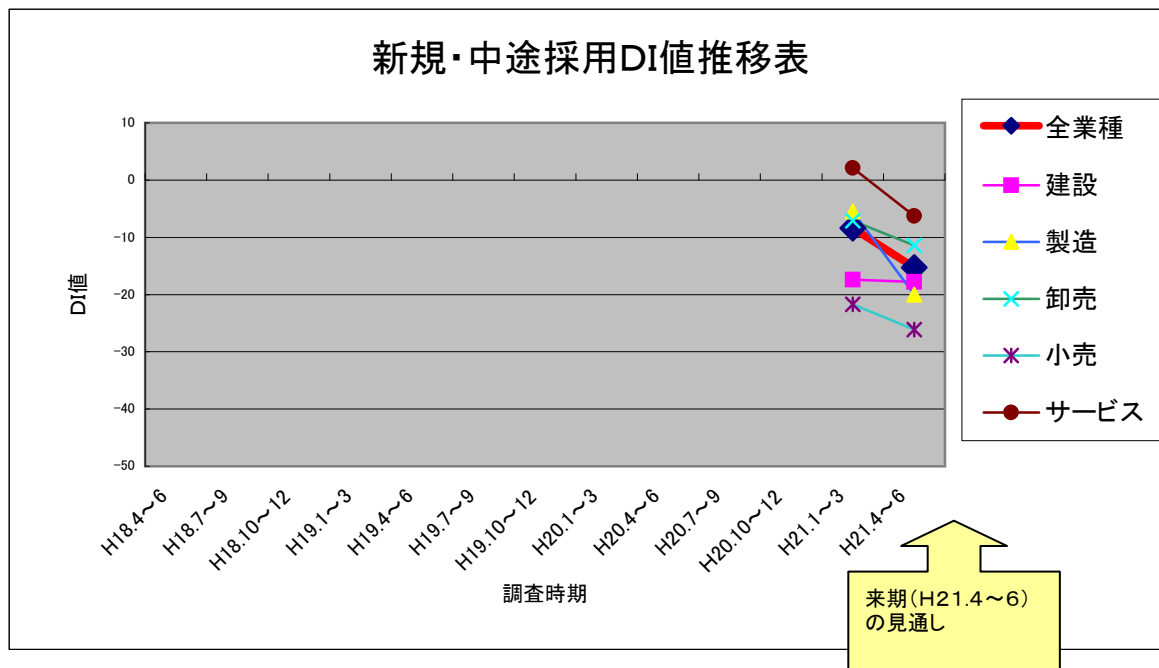
来期(H21.4~6)の見通し

今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で従業員数面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は25社、「減少した」と回答した企業は55社、「横ばいである」と答えた企業は163社であった。DI値は▲12. 3となった。

業種別に見ると、建設業▲21. 2、製造業▲6. 3、卸売業▲14. 6、小売業▲24. 1、サービス業▲2. 0となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲16. 3となる見込み。業種別に見ると、建設業▲26. 0、製造業▲16. 1、卸売業▲14. 3、小売業▲24. 1、サービス業▲4. 0となる見込み。

## 新規・中途採用DI値推移表

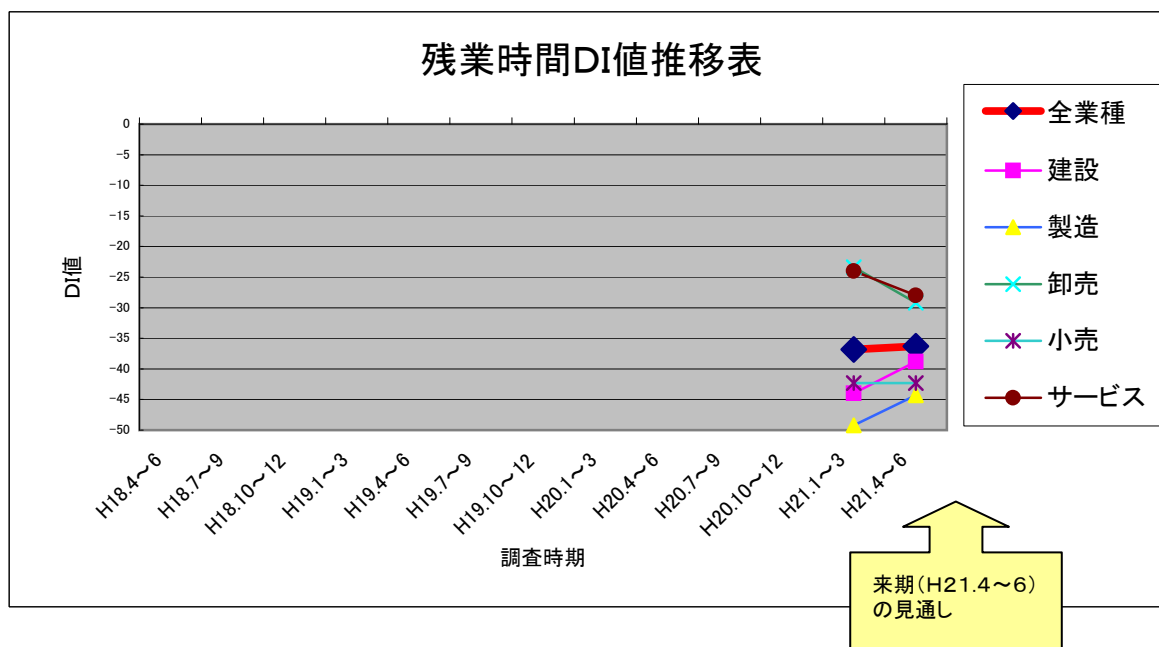


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で新規・中途採用面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は22社、「減少した」と回答した企業は40社、「横ばいである」と答えた企業は152社であった。DI値は、▲8. 4となった。

業種別に見ると、建設業▲17. 4、製造業▲5. 5、卸売業▲7. 1、小売業▲21. 3、サービス業2. 1となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲15. 3となる見込み。業種別に見ると、建設業▲17. 8、製造業▲20. 0、卸売業▲11. 4、小売業▲26. 1、サービス業▲6. 3となる見込み。

## 残業時間DI値推移表

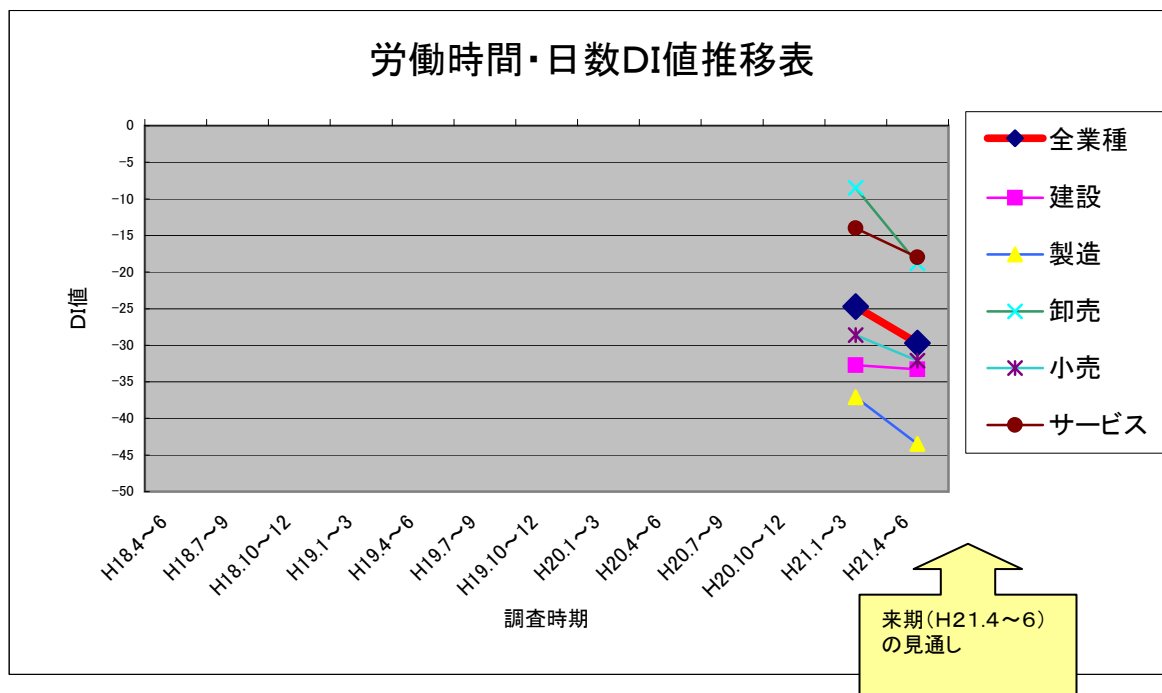


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で残業時間面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は13社、「減少した」と回答した企業は99社、「横ばいである」と答えた企業は122社であった。DI値は▲36. 8となった。

業種別に見ると、建設業▲44. 0、製造業▲49. 2、卸売業▲23. 4、小売業▲42. 3、サービス業▲24. 0となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲36. 3となる見込み。業種別に見ると、建設業▲38. 8、製造業▲44. 3、卸売業▲11. 4、小売業▲42. 3、サービス業▲28. 0となる見込み。

## 労働時間・日数DI値推移表

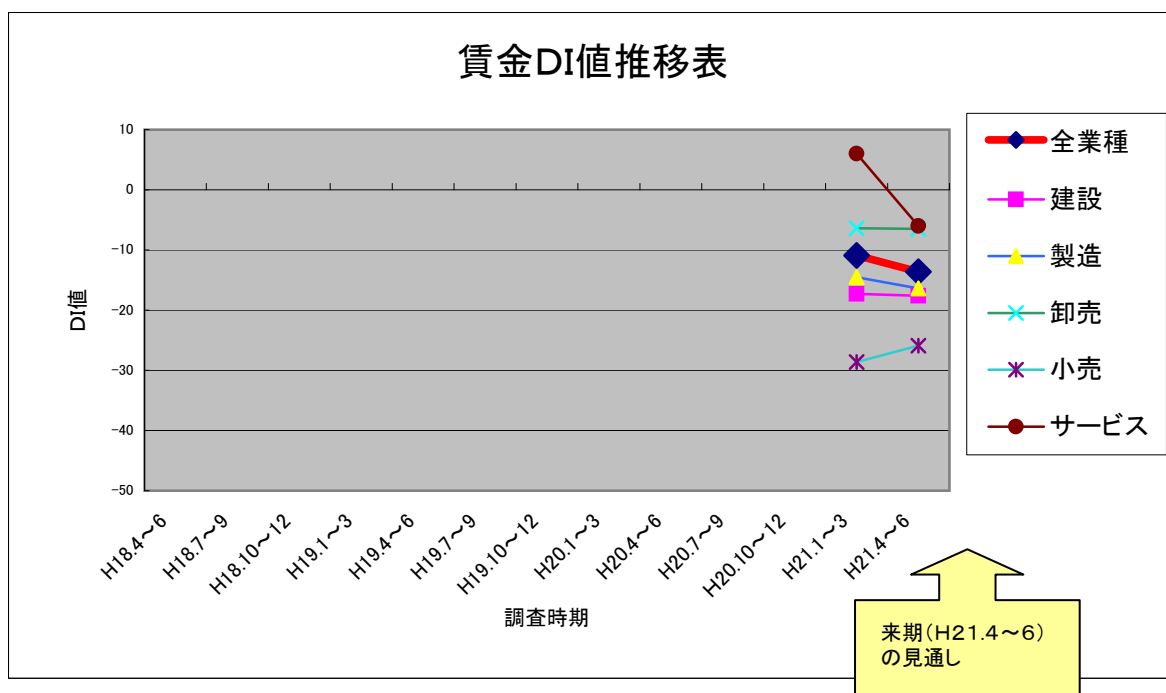


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で労働時間・日数面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は9社、「減少した」と回答した企業は68社、「横ばいである」と答えた企業は162社であった。DI値は▲24. 7となった。

業種別に見ると、建設業▲32. 7、製造業▲37. 1、卸売業▲8. 5、小売業▲28. 6、サービス業▲14. 0となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲29. 7となる見込み。業種別に見ると、建設業▲33. 3、製造業▲43. 5、卸売業▲18. 8、小売業▲32. 1、サービス業▲18. 0となる見込み。

## 賃金DI値推移表

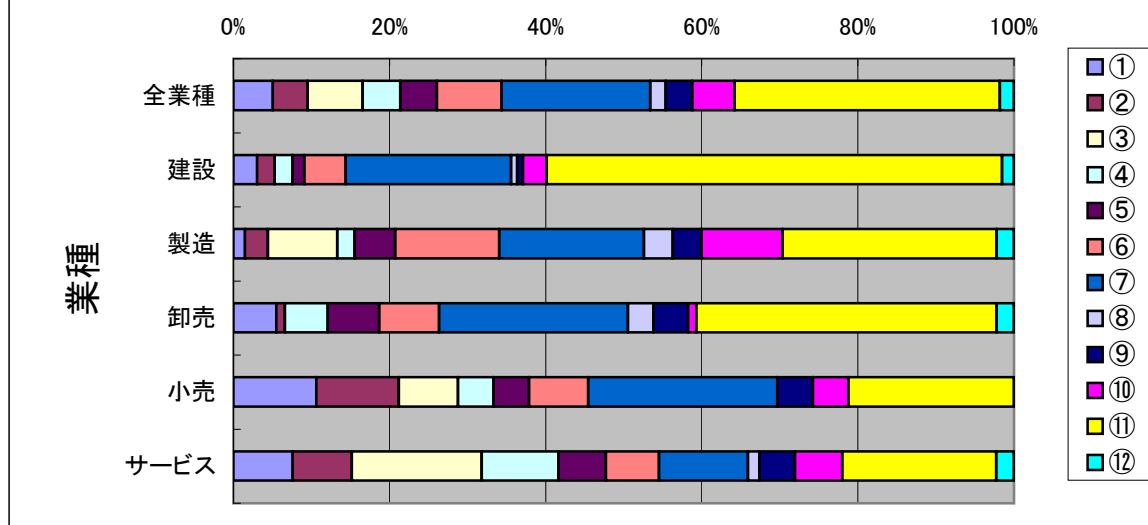


今期(H21. 1~3)の久留米市地場企業景況調査で賃金面での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は26社、「減少した」と回答した企業は52社、「横ばいである」と答えた企業は161社であった。DI値は▲10. 9となった。

業種別のDI値では、建設業▲17. 3、製造業▲14. 5、卸売業▲6. 4、小売業▲28. 6、サービス業6. 0となった。

来期(H21. 4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲13. 6となる見込み。業種別に見ると、建設業▲17. 6、製造業▲16. 4、卸売業▲6. 5、小売業▲25. 9、サービス業▲6. 0となる見込み。

## 経営上の問題点(複数回答可)



①大企業の進出による競争の激化 ②同業者の進出 ③消費者ニーズへの対応 ④人件費の増加 ⑤人件費以外の経費の増加 ⑥仕入単価の上昇 ⑦販売価格の低下 ⑧金利負担の増加 ⑨事業資金の借入難 ⑩従業員の確保難 ⑪需要の停滞 ⑫その他  
 今期(H21. 1～3)の経営上の悩みとしては、「需要の停滞(33. 9%)」「販売価格の低下(19. 1%)」を指摘する声が多く寄せられている。

特に、「需要の停滞」は建設業(58. 3%)、製造業(27. 4%)、卸売業(38. 5%)、サービス業(19. 7%)の4業種で意見が集中した。また、小売業では「販売価格の低下(24. 2%)」に意見が集中した。

### <事業所から寄せられた主なコメント>

- 受注工事の減少や請負単価の減少により厳しい状況が続いている(塗装工事業)
- 受注額は変わらないが採算が悪化している(塗装工事業)
- 官公庁の需要が停滞しており需要があっても確保が困難な状況(電気工事業)
- 来期は売上が増加する見込みのため展示場を建設予定である(一般土木建築工事業)
- 引き合いが活発になり売上が増加しているが、受注額は減少している(管工事業)
- 公共工事・民間工事の減少に伴い売上が大幅に減少してきている(他に分類されない製造業)
- 売上は減少しているが、来期は生産機械等の設備投資を予定している(他に分類されない製造業)
- 引き合いは低調が続いているが、売上額は微増である(その他の食料品製造業)
- 後継者がなかなか見つからないため、今後の先行きが不安である(玩具袋物製造業)
- 大型店や量販店の進出により競争が激化している(印刷資材卸売業)
- 仕入単価の上昇と販売価格の低下に伴い売上が減少している(医薬品卸売)
- 廃業している同業者が多いため、今後の先行きが不安である(飲食料品卸売業)
- 採算は黒字を維持しているが、需要が停滞し売上が減少している(金属材料卸売業)
- 近隣商店の閉店が続く、売上が減少している(化粧品小売業)
- 前期に比べ客数・売上も増加しているが業界全体の需要の停滞は続いている(化粧品小売業)
- 客単価が減ってきており、消費者の節約志向が強くと感じられる(他に分類されない小売業)
- 問屋やメーカーによる直販が多くなり、小売店では単価を下げざるを得ない(金物小売業)
- 売上が増加したため、来期はOA機器の導入を計画している(各種物品賃貸業)
- 常連客の来店頻度が減ってきており売上が減少している(理容業)
- 機械の修理代も高くなり経費が増加している(クリーニング業)
- 客単価は減ってきているが売上額は前期を維持している(税理士事務所)
- 今後は消費者ニーズに敏感になり、売上を伸ばしていかなければならない(警備業)